

令和6年度小諸高校学校目標（学校評価）年間総括

【 1 】教育方針と重点目標

教育方針	民主的な社会の進展に貢献できる健全な人間育成を目指す。
長期的目標	上記実現のため、生徒に「つけるべき力」は次の通りとする。 1 自分から目的を設定し、積極的に行動していく「主体性」 2 社会の一員としての自覚と他者の立場を尊重し、よりよい人間関係を形成する「社会力」
重点目標	1 生徒指導の充実 2 学習活動の充実 3 特別活動の充実 4 開かれた学校づくり ※様々な場面において、いじめ・体罰のない、安心・安全な学校作りをさらに推進していく。

【 2 】今年度の重点活動

重点目標	具体的目標	実施内容	年間総括
1 生徒指導の充実	① 安心して学べる学校づくり	○いじめ暴力を許さない人権感覚の育成 ○相談室体制の充実 ○きずなネットの活用	【生徒指導】・小さな事でも見逃さず人権感覚の育成に努めた。 ・SSWとも連携し、必要があれば支援会議等も行い、医療機関への同行受診も行っている。 ・授業の時間帯に先生方が空き教室を中心に見回り安心安全な校内環境を整えている。 ・歩道の歩き方について外部の人から注意があり、きずなネットで全校生徒に注意を発信した。 【1学年】生徒相談係と連携し、情報を共有しいじめの未然防止に努めた。日々の学校生活の中で教室にいつらさを感じている生徒の居場所を提供していただいている。 【2学年】クラス担任、教育相談係、養護教諭と連携しながら、該当生徒に対してできる限りのサポートをすることができた。 【3学年】学年(担任)・教育相談・養護教諭らと連携し、問題を抱えた生徒を見逃さず、支援することができた。
	② 交通ルール・マナーの向上	○交通安全教育の強化 ○交通安全街頭指導の実施 ○交通安全全校集会の実施	【生徒指導】・4月交通安全教室に小諸警察署から講師をお願いし「自転車のヘルメット着用の必要性」の講義を実施。 ・5月10月2回の通学路街頭指導を行った。 ・バイク通学者に校内研修とバイクの車体点検、ヘルメット点検を行った。 【1学年】交通安全委員による街頭指導の実施など、交通安全面での注意喚起を行っているが、自転車の事故が1件あった。小諸高校から駅方面に向かう急こう配の道路に枯れ葉が積もる時期で、さらに雨上がりで路面が濡れていたため、滑ってしまい、通行人にぶつかってしまうという事故だったが、生徒がきちんと対応できた。 【2学年】交通安全集会では、自転車のヘルメット着用について学んだ。また、年2回の街頭指導を実施し、交通ルール・マナーの向上に努めた。
	③ 集団規律の確立・維持	○係と学年・担任の連絡を密にして共通認識の下に指導等にあたる ○SNS 使用法の注意喚起を随時行う ○アルバイトに関する生徒・保護者・職員の共通理解を図る ○小諸高校生としてふさわしい身だしなみの確立 生徒会との連携も図り、小諸義塾高校(仮称)へと繋げていく ○小諸義塾高校(仮称)の校則・校風を模索していく	【生徒指導】・学年会の生徒状況を生徒指導係で報告し対応を検討した。 ・5月にSNS講習会として「ネットに関する注意事」の動画を2本各クラス電子黒板にて視聴した。 ・終始業式や定期考査を利用し身だしなみに関して指導を行った。 ・令和7年4月の入学生は両校ともにプレザーとネクタイを全員が購入し、標準服(式典など公式な行事の際に着用する制服)として扱う方向である。 【1学年】注意喚起を行ってきたが、いくつかの生徒指導上の問題行動が起こってしまった。自己中心的で他者への配慮、思いやりといったものが欠けている生徒も増えているように感じた。SNSトラブルに関しては、中学時代からの人間関係のもつれに起因するもので、根が深く、当人同士での解決は難しく、教員が間に入らなければならない場面があった。 【2学年】目立った生徒指導上の問題はなかった。身だしなみ検査では、改善をするように指導を受ける生徒も当初見られたが、全体として落ち着いた学校生活が送られた。特に、生徒会行事や修学旅行等を通じて、集団規律の確立を図ることができた。 【3学年】無断アルバイト、生徒指導上の問題が数件あったが、概ね、ルールを守りながら落ち着いた生活を送ることができた。
2 学習活動の充実	① 学力の定着	○家庭学習の習慣化のために学習時間の調査や週末課題など実施 ○外部模試の事前事後指導や、各種検定の活用	【進路指導】学習調査において入力率を向上させるために学習記録の入力方法を変更するなど対応をとった。考査前などは集中して取り組んでいるようだが、継続した学習の習慣化にはもう一工夫が必要である。 【進路指導】外部模試については特に事後指導は丁寧に行っていた。さらに充実させるために特編期間等を利用して解説や次につながる課題の洗い出しなどができると良い。 【1学年】学習時間の調査とその振り返りによって生徒自身が自らの取り組みを評価できた。また外部模試に向けた課題への取り組みを徹底できた。学習習慣のさらなる定着を目指したい。 【2学年】ClassiやGoogleフォーム等の機能を活用し学習時間の入力をさせたが、定着まではいかなかった。外部模試に関しては、事前事後に動画配信等を行い、学力定着を図った。 【3学年】教科により週末課題を出し、基礎学力向上に取り組んでいただいた。毎年の事だが、模試の事前、事後指導の時間を確保することが厳しかった。
	② 進路指導の充実	○小諸ふれあい講座、職場体験などへの積極的参加の促進 ○基礎学力の一層の充実	【進路指導】年2回スタディサポートや模試、各種検定の結果を活用し、各学年の現状や課題を把握し学年会等で共有することができた。進路実現のためにも基礎学力のさらなる向上を目指し、自ら学び考える力を醸成することが重要である。

	<ul style="list-style-type: none"> ○現在の入試状況、社会情勢に関して、生徒・保護者に最新情報をHPなどを利用して提供 	<p>【進路指導】入試情報などの情報発信は定期的な通信で提供。奨学金情報も丁寧に発信した。</p> <p>【1学年】大学見学会や外部進路説明会、大学出前授業などを通じて生徒の進路への意識付けをおこなうことができた。生徒は自分自身の進路に向き合ったり、実際に大学を見学したり、学問について学ぶことで少しずつ将来のイメージを作ることができた。学力の充実と並行して進路学習を進め、生徒が希望する進路の実現に向け継続して支援していきたい。</p> <p>【2学年】個人探究を活用し職場体験等への参加ができた。</p> <p>学年通信を通して、入試状況や入試方法等は周知できた。</p> <p>【3学年】担任、進路係、教科による個別面談、補習を行うことができた。それにより自らの進路、就職決定につなげることができた。</p>	
③	<ul style="list-style-type: none"> ○ICTを活用した授業研修など校内研修会の実施 ○研究授業の実施 ○校内公開授業週間を設定し、授業見学による授業形態の研究 	<p>【1学年】多くの授業でICTが活用され、生徒の学習活動を支援できた。また、電子ファイルによる資料のやり取りが頻繁に行われ、提出物や課題の進捗等を共有しやすくなった。ICTのさらなる活用と、ICTに限らずよりよい授業形態の研究を進めていきたい。</p> <p>【2学年】教科横断型で行っていきけるよう来年度は工夫が必要である。</p>	
3	特別活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ① 生徒会活動の充実 <ul style="list-style-type: none"> ○生徒会活動を通じた人間形成、集団づくり ○生徒が主体的に活動できる場所の設定 ○小諸義塾高校(仮称)へ向けて、現在の活動を見直し、発展的継承を図る ② クラブ活動の充実 <ul style="list-style-type: none"> ○クラブ活動を通じた人間形成、集団づくり ○目標達成に向けての努力過程の重視 ③ HR活動の充実 <ul style="list-style-type: none"> ○HR活動を通じた人間形成、集団づくり ○LHR活動での自主性、探究心を活かす活動 ○生徒が主体となった学年行事企画運営 	<p>【生徒会】昨年度の生徒会行事に加えて、野岸祭での小諸商業高校との交流や新執行部対象のリーダー研修会など新たな企画を行うことができた。</p> <p>【1学年】コロナやインフルエンザが猛威をふるう中ではあるが、多くの生徒たちが積極的に行事に参加する姿が見られた。また生徒主体による普通科と音楽科の生徒たちの企画は概ね好評であり、今後も工夫を重ねて続けていきたい。</p> <p>【2学年】昨年度の生徒会行事に加えて、野岸祭での小諸商業高校との交流や新執行部対象のリーダー研修会など新たな企画を行うことができた。</p> <p>【3学年】最上級生として、生徒会活動の中心となり、役員となった生徒については様々な生徒会活動を通じて成長することができた。また、役員でない生徒も自主的、主体的に生徒会活動へ参加、協力し成長することができた。</p>
4	開かれた学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> ① 開かれた学校づくり <ul style="list-style-type: none"> ○OPTA活動の充実 ○学校評議員会の充実 ○生徒・保護者アンケートの実施 ② 小諸高校からの情報発信 <ul style="list-style-type: none"> ○ホームページの充実 ○学年・学級通信の充実 ○進路通信、「小諸高校ニュース」の充実 ○きずなネットの活用 ③ 外部との連携 <ul style="list-style-type: none"> ○市内各校・地域諸団体と連携を推進 ○外部向け公開授業の実施 	<p>【1学年】環境整備事業は、今回は台風の影響により直前で中止となったが、準備計画段階で多くの協力者を募ることができたので、来年度は実施できることを期待する。</p> <p>【2学年】保護者アンケートの回答率の低さが課題である。きずなネットの活用と通信等での連絡を考える。</p> <p>【PTA係】野岸祭を、多くの保護者の皆様のご協力のもと実施することができた。役員会、評議委員会など計画通り実施できた。</p> <p>【教務係】アンケート内容を精選し、その反映をはかりたい。</p>
		<p>【生徒会】「学校×KDDI共創プロジェクト」により、生徒会公式Instagramを開設することができた。今後は、中学生や地域に向けて、小諸高校の情報や小諸義塾高校(仮称)の情報発信を計画している。</p> <p>【1学年】ICT環境の充実として、生徒が学校情報を参照できるスケジュール等を含むデジタルコンテンツを整備、その中で生徒向けの学年通信を日々発行することができた。必要に応じて、保護者への通知は、プリント(紙)と、きずなネットで合わせて配信できた。</p> <p>【2学年】「学校×KDDI共創プロジェクト」により、生徒会公式Instagramを開設することができた。今後は、中学生や地域に向けて、小諸高校の情報や小諸義塾高校(仮称)の情報発信を計画している。</p> <p>【進路指導】進路指導通信を4号+号外1を発行した。2月末に第5号を発行予定。予定通りに進めることができた。</p> <p>【教務係】わかりやすい、見やすいホームページの構築を目指したい。</p>	
		<p>【1学年】地域探究プロジェクト、地域探究ふれあいフィールドにて、小諸市観光探索や小諸市出前授業を実施することができ、その結果をデジタルコンテンツにまとめ、それを参照できる探究ポスターを地域に配布した。</p> <p>【教務係】公開授業、体験入学を実施したが、より多くの人に來校いただけるよう周知の拡大を図りたい。また、回数も検討していきたい。</p>	

